

令和元年度 能美市立宮竹小学校 学校評価 (概要)

重点目標 (時疫)	具体的方策	主担当	【評価指標】 (成果指標) (努力指標) (満足度指標)	【評価の根拠】 達成度判断基準	評価	取組状況	学校関係者による意見	今後の改善策
1 組織的な学校運営	①学年会、部会、校内研修等の機能化により、組織・機動的な学校運営を行う。	教務主任	【努力指標】校内研修(JTP)や学年会等を通して、互いの指導力および教員としての資質能力の向上を図る。	【教職員アンケート】校内研修や学年会を通して、自己の授業力・学級経営力等、資質能力の向上を実感できたか。	A	・学年会を定期的に実施し、児童理解や授業改善について話し合った。 ・計画的に校内研修会をもち、教師の学び合いを推進した。	・フォローアップタイムや土曜スクールで見ていると明るく育っている子ども達の様子が見える。	・学年会の内容を精選するとともに、他学年とも内容の共有を図る。 ・校内での情報共有を進めるとともに子育て支援センターなど外部機関とより一層の連携を図る。
	②目標を共有して連携・協働し、「チーム学校」を機能させ、諸課題の未然防止・早期解決につなげる。	教頭	【努力指標】教職員と各専門スタッフ等が連携・協働を推進し「チーム学校」を機能させる。	【教職員アンケート】専門スタッフや外部人材と連携・協働し、学校の諸課題に対応できたか。	A	・職員室での交流を中心に、全教職員で情報交換したり共通理解の上で指導したりしている。 ・外部機関や外部からの派遣スタッフと連携して諸課題に対する対応を行うことができた。	・仕事の重なりなど、先生方には小規模校特有の大変さがある。先生方の心と体を大切にしてください。	・各教育活動の目的や取組方法を協議し、見直しを進めたい。
	③多忙化改善に向けた取り組みや意識改革を推進すると共に協力・協働による効率的な業務遂行を図る。	教頭	【努力目標】業務の平準化や、ワークライフバランス意識の向上に努め、協力・協働による効率的な業務遂行を図る。	【教職員アンケート】多忙化改善に向けた取り組みを進め、ワークライフバランス意識の向上に努めたか。	B	・協力・協働を心がけ、効率的な業務遂行に努めている。	・各教育活動の見直しや取組方法の検討が必要である。	・各P委員会において課題のある取組を協議し、合意形成を大切にす。
2 知(確かな学力を育む)	①児童が主体的に取り組める課題の工夫および学び合いを深めるためのコーディネート力の向上に努める。	研究主任	【努力指標】見通しや目的意識を持たせた児童の思考に沿った授業を推進し、目的を持った交流の中で考えを広げ深めさせる。	【教職員アンケート】思考の流れの意識や学習形態の工夫により、児童の思考を広げ学び合いを深める授業づくりに取り組めたか。	A	・課題を明確にし、目的をもって学び合う場面を設定して、児童の主体的な活動を促し、思考の広がりや深まりにつなげるように工夫している。	・子どものノートを見ること、相手に伝わるよう自分の考えをしっかりと書いている。 ・ノート展の取組がよい。授業参観等で展示し、保護者の目にも触れるようにしてはどうか。子どもの励みにもなるし、保護者への啓発にもなるのではないかと。	・考えを深めるための学びの視点を与えたり、シナリオ学習の導入を試みたりする。 ・子どもの考えを見とる力を教師がつけていく。
	②コミュニケーションの意欲と技能の向上を図り、外国語においてもその能力を発揮できる児童の育成に努める。 ②論理的に「話す」「聞く」「読む」「書く」力を育成するための指導を継続し、共通実践を確実に行う。	研究主任	【努力目標】各教科や学校生活、外国語活動等で言語活動に取組み、コミュニケーション能力の向上を図る。 【努力目標】授業の中で考えの根拠や理由を述べることを促したり問うたりして論理的な思考力の育成を図る。	【教職員アンケート】コミュニケーションの目的や場面、児童同士の対話を大切に言語活動を取り入れているか。 【教職員アンケート】授業の中で、考えの根拠や理由を述べることを促したり、問う発問をしたりできたか。	A	・英語でのコミュニケーションの楽しさを体感できる場面を工夫し、外国語活動を充実させた。 ・対話における相手意識を大切に「つながる5」を活用した。 ・よい話し合いや説明のモデルとして語型や三角ロジックを示し意識させている。 ・学習活動の中で根拠や理由の提示を大切に取組んでいる。	・子どものノートを見ること、相手に伝わるよう自分の考えをしっかりと書いている。 ・ノート展の取組がよい。授業参観等で展示し、保護者の目にも触れるようにしてはどうか。子どもの励みにもなるし、保護者への啓発にもなるのではないかと。	・考えを深めるための学びの視点を与えたり、シナリオ学習の導入を試みたりする。 ・子どもの考えを見とる力を教師がつけていく。 ・互いの意見を大切にし、間違いや失敗を受け入れるような取組づくりに努める。 ・やり取りの際の相手意識を高める。 ・三角ロジックを、学年や有効活用できる場において取り入れていく。 ・日常で書く文章、ノートの中で間違い等を丁寧に見て、指導していく。
3 徳豊かな人間性を育む	①道徳の授業を工夫改善し、行動目標や行事との連携を図ることで道徳教育を充実させ、めざす児童の姿の実現につなげる。	道徳教育推進教員	【成果指標】学習会や相互参観等により道徳教育の理解を深め、指導の重点を意識した道徳の授業や教育活動を行う。	【教職員アンケート】学習会や相互参観等を授業づくりに生かし、指導の重点を意識した道徳の授業や教育活動を行うことができたか。	B	・校外研修会等の内容を共有し、授業の相互参観での学びを授業づくりに活かしている。 ・「宮っ子エイト」や各種行事との関連を図りながら道徳の授業を実践している。	・全体的には、素直な子どもが多く、取り組みの成果が見られる。 ・相互参観において視点を明確にし、観る側も授業者も視点を意識して学び合う。 ・縦割り活動の振り返りでは視点を与え、よさの発見やつながりの意識につなげる。 ・教科書に合わせ10冊の見直しを行うとともに、興味づけや手にとらせる工夫をする。	・評価についての学習会を行い、理解を深める。 ・相互参観において視点を明確にし、観る側も授業者も視点を意識して学び合う。 ・縦割り活動の振り返りでは視点を与え、よさの発見やつながりの意識につなげる。 ・教科書に合わせ10冊の見直しを行うとともに、興味づけや手にとらせる工夫をする。
	②つながり合う集団活動を通して、自己肯定感や思いやりの気持ちを育む実践の工夫に努める。	生徒指導主事	【成果指標】縦割り活動や異学年交流等を実施する中で、互いのよいところを見つけあったり見習ったりできる。	【児童アンケート】縦割り活動等で交流を深める中で、クラスの友達や他学年のよいところを見つけることができたか。	A	・縦割り活動を工夫して他学年との交流を深めるとともに、相手を思いやりたりよいところを見つけて伝えたりする活動を重ねている。	・本との出会いを工夫してほしい。	・柔軟性を高める運動を準備運動に取り入れる。 ・業間遊びを体育委員会が中心となって提案する。 ・体育館に個々に運動に取り組めるコーナーを作る。
	③読書活動の充実(質の向上)を図り、心を耕し育てる。	図書館担当	【成果指標】読書の質の向上を目標とし、段階的・計画的に課題図書「10冊チャレンジ」に取り組む。	【児童アンケート】宮っ子課題図書「10冊チャレンジ」に取り組むことができたか。	B	・児童の読書への関心や意欲が高まるような様々な仕掛けや取組を継続している。 ・個人差が大きいことが課題。	・本の出会いを工夫してほしい。	・柔軟性を高める運動を準備運動に取り入れる。 ・業間遊びを体育委員会が中心となって提案する。 ・体育館に個々に運動に取り組めるコーナーを作る。
4 体(心身の健康を育む)	①望ましい生活習慣を確立するため、学校と家庭・地域が連携・協働し、継続的な取組を行う。	教務主任	【努力指標】ノーメディアデーや家庭学習強化週間を設定し、生活習慣やゲーム・スマホ等の時間管理を見直すとともに、取組を家庭・地域に周知する。	【教・児・保アンケート】時間管理を意識して生活できたか。	A	・ノーメディアデーの取組を家庭と協力しながら継続している。学校保健委員会でもテーマとして設定し、啓発に取り組んでいる。 ・同様な取組が多く、重なりをなくすことが必要。	・朝の集合時刻に間に合わない子がいる。夜の過ごし方が気になる。 ・学校保健委員会に保護者の参加が少なくもったいないと感じた。 ・外でのびのびと遊ぶ子どもの姿が減ったと感じる。学校でも外遊びを推奨してほしい。	・取組ができなかった児童に即時性を持って対応する。 ・家庭学習の取組の分析を、個人懇談会で話し合いの材料にしておく。 ・柔軟性を高める運動を準備運動に取り入れる。 ・業間遊びを体育委員会が中心となって提案する。 ・体育館に個々に運動に取り組めるコーナーを作る。
	②体力向上1校1プランに沿った体育行事や体育授業、日常生活全般を通し、体力の向上に努める。	保健主事	【成果指標】体育授業での柔軟性を高める運動や業間遊びを通して体力向上に努めるとともに、めあてを意識させて検定カードに取組む。	【教・児アンケート】体育検定、体育授業及び業間の取組を通して体力づくりに努めているか。	A	・各学期の重点的な取組(鉄棒・持久走・なわとび)を中心に、授業や業間の遊びで体力の向上に努めた。	・柔軟性を高める運動を準備運動に取り入れる。 ・業間遊びを体育委員会が中心となって提案する。 ・体育館に個々に運動に取り組めるコーナーを作る。	・柔軟性を高める運動を準備運動に取り入れる。 ・業間遊びを体育委員会が中心となって提案する。 ・体育館に個々に運動に取り組めるコーナーを作る。
5 家庭・地域との連携	①「学校運営協議会」を充実させ、学校・家庭・地域が協力し児童の育成にあたるコミュニティ・スクールの取組を推進する。	教頭	【努力指標】学校運営協議会(地域サポート部)を活用し、学校・家庭・地域が協力し児童の育成に努める。	【教・児アンケート】学校運営協議会(地域サポート部)を活用し、教育活動を充実させることができたか。	A	・地域人材の活用がさらに進み、安全面や児童の意欲・技術の向上等の成果が見られる。 ・「アクションプラン」に児童の意見を反映して改善した。	・2年生の子ども達からのお礼の手紙によって、サポートのよさや価値を共有することができ、励みになった。 ・新たに学校が必要とするサポートの要望があれば出してほしい。 ・サポートの年間プランを作成し、活用していきたい。	・サポートの年間計画の提案と共に、月歴の欄から昨年の実績を表記する。 ・アクションプランについて年度初めに児童会役員・各学年で協議し周知する。 ・ふるさと学習のファイルを学年・内容別に整理・見直しし、体系化する。 ・児童から地域の方への感謝の気持ちを大切に取組む。
	②「宮っ子ふるさと学習」として、地域人材・伝統・環境等の特色を積極的に学習に活かし、教育活動を更に充実させる。	教務主任	【努力指標】地域教材やJAIST等地域の特色を生かした教育活動の推進に努める。	【教・保アンケート】地域のつながりや特色を教育活動に生かそうとしているか。	A	・地域人材やJAISTの協力により、地域の特色を活かしたふるさと学習に取り組むことができた。	・柔軟性を高める運動を準備運動に取り入れる。 ・業間遊びを体育委員会が中心となって提案する。 ・体育館に個々に運動に取り組めるコーナーを作る。	・柔軟性を高める運動を準備運動に取り入れる。 ・業間遊びを体育委員会が中心となって提案する。 ・体育館に個々に運動に取り組めるコーナーを作る。